

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/7)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	川 畑 直 人
学歴	昭和59年 3月 京都大学教育学部 卒業 昭和61年 3月 京都大学大学院教育学研究科（修士課程）教育方法学専攻 修了 昭和62年 4月 京都大学大学院教育学研究科（博士課程）教育方法学専攻 中退 平成13年10月 William Alanson White Institute（Child and Adolescent Psychotherapy Training Program）卒業 平成13年11月 William Alanson White Institute（Psychoanalytic Training Program）卒業				
学位	平成11年 3月 教育学博士（京都大学 論教博第81号）				
専門分野	精神分析学、ロールシャッハ・テスト、非行臨床				
専門資格	臨床心理士(0856号)				
所属学会	昭和60年 4月 日本教育心理学会 日本心理臨床学会 昭和62年 9月 日本心理学会 日本犯罪心理学会 平成 9年 5月 日本ロールシャッハ学会 平成18年10月 日本精神科診断学会				
受賞					
担 当 授業科目	学 部 コミュニケーションスキル演習 臨床心理学演習、臨床心理学研究法演習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学総合演習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学実践演習（夢分析4）、非行と犯罪の心理学、対人関係精神分析学、心理統計学、臨床コミュニケーション論 社会に活かす臨床心理学 臨床心理学とキャリア構築 大学院 犯罪臨床心理学特論、臨床心理面接特論B、臨床心理面接特論C、心理療法特演Ⅰ-B、臨床心理学特演Ⅰ-A・Ⅰ-B、臨床心理学特演Ⅱ-A・Ⅱ-B、心理臨床査定特演Ⅰ-A・Ⅰ-B、心理臨床査定特演Ⅱ-A・Ⅱ-B、臨床心理学学外実習Ⅰ-A・Ⅰ-B、臨床心理学学外実習Ⅱ-A・Ⅱ-B、臨床心理学研究演習Ⅰ-A・Ⅰ-B、Ⅱ-A・Ⅱ-B、Ⅲ-A・Ⅲ-B				
論文指導	論文指導担当[主査]（卒論：16名、修士論文： 4名） 論文審査担当[副査]（卒論： 5名、修士論文： 3名）				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー		実施学期	履修者数
	コミュニケーションスキル演習	講義・演習・実習・実験		春・秋	約30名
	授業の概要： 教員3名により、合同ならびに並行の形を柔軟に組み合わせながら、対人社会心理学の基本的な演習を構築した。授業では、カウンセリングやコーチングなどの実践的な内容を、2回生なりに消化できるように工夫した。また、早い段階から卒論に着手できるように工夫した。				
1	教育活動の振り返り： 体験を通して学習させる手法を開発し、洗練させている。 教育活動の成果： グループでの体験を通して、自ら発見し、考察を深めるという学びを提供することができた。 今後の課題： 多人数の論文指導のクラスをどう運営するかが課題である。				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2 / 7)

F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名 犯罪臨床心理学特論	科目カテゴリー 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験	実施学期 春 ・ 秋	履修者数 約30名
	授業の概要： ロールプレイを取り入れ、犯罪非行臨床の現場をシュミレーションしながら、事例について考えさせる手法を開発した。			
	教育活動の振り返り： 2 ロールプレイを取り入れることで、臨場感を持って考えることができ、発見的な要素が増加した。 教育活動の成果： ロールプレイとグループ討論のコンビネーションが志向を高めるうえで重要であった。 今後の課題： より多くの事例を紹介するために、事例の要約作業が必要である。			
	・ 学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 特になし。			
H26 年度 研究課題	・ 教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 夏休みに合宿を行い、卒論指導とグループワーク（サイコドラマ）を組み合わせ、研究と臨床技術の両面からの指導を行うことができる。			
	1. システム心理力動論的組織コンサルテーションに関する研究 2. 発達障害児童に対する心理教育プログラムの開発と実施 3. 東北大震災の被災者に対する心理学的支援のあり方に関する研究 4. 精神分析的な心理療法におけるエナクトメントの意義に関する研究			
年度 の 研 究 活 動 の 概 要 平成二十六(2014)	1. システム心理力動論的組織コンサルテーションに関するワークショップを、海外からの講師を招聘して開催した。また、日本における臨床実践を蓄積できた。 2. 発達障害児童に対する心理教育プログラムを合計20回開催した。 3. 福島県楢葉町の住民が避難するいわき市に赴き、町の住民福祉事業に貢献した。 後述：(学会報告、活動8) 4. 精神分析的な心理療法におけるエナクトメントについて論文を執筆し公刊した。 後述：(論文)1			
平成二十六(2014)年度 の 主 な 研 究 成 果 等	(著書)			
	(論文)			
	1. 「精神分析的な心理療法におけるエナクトメントの意義」、単著、平成26年6月、京都精神分析心理療法研究所紀要Psychoanalytic Frontier, Vol.1, pp.5-14			
	(学会報告、学会活動)			
	1. 「Collisions between Cultures and techniques」(指定討論者) 平成26年4月、APA division of psychoanalysis(39) 34 th annual spring meeting, The Sheraton New York.			
	2. 「現場に生かす対人関係論」(講師) 平成26年6月、日本精神分析的な心理療法フォーラム2014 年度研修会、甲南大学・岡本キャンパス			
	3. 「臨床教育シンポジウム」(司会) 平成26年8月、日本心理臨床学会第33回大会、パシフィコ横浜			
	4. 「体験は心理臨床実践に何をもたらすのか」(話題提供者) 平成26年9月、日本心理学会第78回大会、同志社大学今出川キャンパス			
	5. 「一般研究発表A」(座長) 平成26年11月、日本ロールシャッハ学会第18回大会、佛教大学紫野キャンパス			
	6. 「精神分析的な心理療法の枠について考える」(講師) 平成26年12月、日本精神分析的な心理療法フォーラム第3回大会、立命館大学衣笠キャンパス			
	7. 「精神分析的な心理療法への神経科学の寄与」(指定討論) 平成26年12月、日本精神分析的な心理療法フォーラム第3回大会、立命館大学衣笠キャンパス			

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/7)

平成二十六(2014)年度の 主な研究成果等	(学会報告、学会活動 つづき) 8. 「被災地コミュニティに継続的な支援をするためのつながり形成に関する精神分析的考察」 (共同発表者) 平成26年12月、日本精神分析的心理療法フォーラム第3回大会、立命館大学衣笠キャンパス (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) (調査活動) (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) 臨床心理学研究科長、産業メンタルヘルス研究所副所長、大学運営会議委員、大学教学会議委員、自己点検・評価委員会委員、自己点検・大学院委員会委員、危機管理委員会委員、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員、産業メンタルヘルス研究所運営会議委員
平成二十六(2014)年度の 社会における活動	(NPO 法人等の団体への参画) ・ 財団法人日本臨床心理士資格認定協会評議員「平18.4より」 ・ 社団法人日本心理臨床学会代議員「平22.4より」 ・ 一般社団法人京都精神分析心理療法研究所代表理事「平24.7より」 ・ 有限会社ケーアイピーピー取締役「平14.8より」 ・ 一般社団法人日本臨床心理士会理事「平25.6より」 (自治体や企業における研修等の講師) 平成26年 6月 平成26年度専門研修課程専攻科第3回研修、対象：処遇カウンセラー及び処遇に関する調査専門官、「組織内関係について」・事例検討 ・事例検討 (講師) 於：矯正研修所大阪支所 平成26年 7月 1. 広島カウンセリングスクール、対象：カウンセリングスクール受講者、「精神分析概論」、於：中国新聞ビル 2. 広島カウンセリングスクール、対象：カウンセリングスクール受講者、「コミュニティ心理学と対人関係論」、於：中国新聞ビル 平成26年 8月 京都BBS連盟、対象：京都BBS会員・兵庫BBS会員、「合同研修会公講演」、於：京都トラベラーズ・イン 平成26年10月 一般社団法人日本臨床心理士会、対象：日本臨床心理士会会員、「平成26年度定例研修会 (東京) 第2回アディクション心理臨床研修会」(指定討論) 於：東京ビッグサイト 平成27年 3月 滋賀県児童福祉入所施設協議会、対象：滋児協心理部会会員、「事例検討会」(講師) 於：児童養護施設湘南学園フロンティアホール (その他) ・ 児童心理療育施設ひびきスーパーヴァイザー「平18.4より」
平成二十一～二十五(2009～2013)年度の 主な研究成果等	(著書) 1. 『臨床心理学 ―心の専門家の教育と心の支援―』、共著、平成21年7月、培風館、共著者：鑓幹八郎、心理学の世界 基礎編8 (249p)：2章 心理臨床の面接の意義と機能 (pp.25-32) 3章 精神分析(pp.33-46)、4章 発達論的な精神分析理論と心理面接(pp.47-62)、5章 クライアント中心療法(pp.63-72)、6章 行動論的心理療法(pp.73-88)、7章 集団心理療法(pp.89-104)、8章 家族療法(pp.105-118)、9章 子どもの心理療法(pp.119-136)、10章 臨床心理的地域援助 (pp.137-152)、11章 心理査定・アセスメント(pp.153-192) (論文) 1. 「From Seed to Transplant: The Foundation of a Psychoanalytic Institute in Japan.」、単著、平成21年7月、Contemporary Psychoanalysis, Volume 45, Number 3. (pp.406-414) 2. 「私にとってのサリヴァン・パーソニフィケーション」、単著、平成22年12月、星和書店、治療の聲第11巻第1号 (pp.37-40)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/7)

(学会報告、学会活動)

1. 自主シンポジウム「ジェンダーコンシャスなアプローチ(5) —病院臨床からみるジェンダー—」(指定討論者) 平成21年9月、日本心理臨床学会第28回大会、東京国際フォーラム
2. 指定討論「対人関係論の鍵概念を取り上げる —サリヴァンのDetailed Inquiry (詳細な質問)」、平成23年6月、第5回精神分析的心理療法フォーラム、甲南大学222教室
3. 「精神分析的心理療法における共感の意味」(シンポジスト) 平成23年6月、第5回精神分析的心理療法フォーラム、甲南大学甲友会館
4. 「災害と精神分析 —東日本大震災と原発事故を巡って」(シンポジスト) 平成23年6月、第5回精神分析的心理療法フォーラム、甲南大学
5. 指定討論「対象関係論から関係精神分析へ」、平成23年11月、日本精神分析学会第57回大会、名古屋国際会議場
6. 学術講演「統合失調症者に対する精神分析的心理療法の可能性について ~ 対人関係論の視点から ~」、平成24年3月、比治山大学心理相談センター対人関係セミナー、比治山大学6号館
7. 「システム・心理力動モデルに基づく被災地域心理支援活動(1)」、共同(発表) 平成24年9月、日本心理臨床学会第31回秋季大会、愛知学院大学
8. 「システム・心理力動モデルに基づく被災地域心理支援活動(2)」、共同(発表) 平成24年9月、日本心理臨床学会第31回秋季大会、愛知学院大学
9. 「システム・心理力動モデルに基づく被災地域心理支援活動(3)」、共同(発表) 平成24年9月、日本心理臨床学会第31回秋季大会、愛知学院大学
10. 「システム・心理力動モデルに基づく被災地域心理支援活動(4)」、共同(発表) 平成24年9月、日本心理臨床学会第31回秋季大会、愛知学院大学
11. 「対人関係論の鍵概念を取り上げる —解離モデル：『未構成の経験』という考え方」、指定討論者、平成24年12月、日本精神分析的心理療法フォーラム第1回大会、甲南大学
12. 「詳細な質問入門 —対人関係精神分析の基礎(2)」、ワークショップ講師、平成24年12月、日本精神分析的心理療法フォーラム第1回大会、甲南大学
13. 「現代精神分析の実践的チャレンジ」、シンポジスト、平成24年12月、日本精神分析的心理療法フォーラム第1回大会、甲南大学
14. 「スターンの臨床と未構成の経験」、企画・司会者、平成24年12月、日本精神分析的心理療法フォーラム第1回大会、甲南大学
15. “ An Introduction to Interpersonal Psychoanalysis ”、単独(発表) 平成24年3月、International Mental Health Professionals Japan、国際文化会館(東京)
16. 「精神分析的心理療法におけるエナクトメントの意義」(発表) 単独、平成25年8月、日本心理臨床学会第32回秋季大会、横浜パシフィコ
17. 「臨床心理士教育における多能性専門職モデル」(パネリスト) 平成25年10月、日本理論心理学会第59回大会、京都文教大学
18. 「統合失調症を発症した男性に対する精神分析的心理療法：サリヴァン派精神分析の観点から」(発表) 単独、平成25年11月、日本精神分析学会第59回大会、国立京都国際会館

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

監訳：

1. サンドラ・ビューチュラー著「精神分析臨床を生きる —対人関係学派からみた価値の問題—」、共訳、平成21年5月、創元社、264p

書評：

1. 「狩野力八郎著 方法としての治療構造論 - 精神分析的心理療法の実践」、単著、平成22年12月、金剛出版、臨床心理学第10巻 第3号(p.481)
3. 「第4章 教育事業報告」、単著、平成22年3月、京都文教大学産業メンタルヘルス研究所レポート第2号(pp.67-73)
4. 「花届け人・京都Hanatodokebito-Kyoto」、共著、平成24年3月、『心理臨床の広場』Vol.4No.2(p.34)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/7)

平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の主な研究成果等

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)

学術講演：

1. 「精神分析的心理療法における価値と中立性」(司会・通訳) 平成21年5月、第3回精神分析的
心理療法フォーラム全体会、京都文教大学
2. 「対人関係論の基礎の基礎 第2弾 Dr. Sandra Buechlerによる対人関係精神分析技法論」(司会・
通訳) 平成21年5月、2009年度KIPP対人関係精神分析セミナー、コープイン京都
3. 「Dr. Jack Drescherによる一日臨床講義+セミナー「セクシャリティと精神分析」」(司会・通訳) 平
成21年9月、AGP (同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議共催 2009年度KIPP
対人関係精神分析セミナー、エル・おおさか
4. 発表内容「施設心理士の明日に向けて」(助言者) 平成21年11月、第6回西日本児童養護施設職員
セミナー近畿ブロック (大阪) 大会第5分科会「施設心理士の役割 ―求められるもの・めざすも
の―」、全日空ゲートタワーホテル
5. 「レーヴェンソン流 = 対人関係論の展開」(講師) 平成22年1月、2009年度KIPP対人関係精神分
析セミナー、キャンパスプラザ京都
6. 「パーソンとしての治療者」(講師) 平成22年3月、大阪精神療法・心理療法研究会主催、2009
年度第 期大阪精神分析セミナー ―精神療法家・心理療法家のためのセミナー―、大阪国際会
議場
7. 「レーヴェンソン流 = 対人関係論の展開」(講師) 平成22年2月、KIPP対人関係精神分析セミナー
、キャンパスプラザ京都
8. 「パーソンとしての治療者」(講師) 平成22年3月、2009年度第12期大阪精神分析セミナー、大阪
国際会議場
9. 「精神分析的な心理療法入門 (2) 技法編」(講師) 平成22年7月、KIPP対人関係精神分析セミナー、キ
ャンパスプラザ京都
10. 「精神分析的な心理療法入門 (1)」(講師) 平成23年6月、京都精神分析心理療法研究所 (KIPP) 対
人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都
11. 「もうひとつの自我心理学としての対人関係論」(講師) 平成23年12月、京都精神分析心理療法
研究所 (KIPP) 対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都
12. 「対人関係精神分析のパイオニアたち」(シンポジスト) 平成24年2月、京都精神分析心理療法
研究所 (KIPP) 対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都

その他：

1. 「査定業務に内在する治療的契機」(コメント) 単著、平成21年12月、金剛出版、竹内健児編、事
例でわかる心理検査の伝え方・活かし方 (pp.191-200)
2. 「詳細な質問 / 同形変容 / 精神分析は心理療法がしくじるところで成立する」、単著、平成22年5
月、金剛出版、臨床心理学第10巻第3号 (pp.461-463)
3. 「森本論文に関するコメント」、単著、平成25年1月、上智大学 臨床心理研究第35巻 (pp.210-212)
4. 「西尾さんのケースを読んで」(事例報告へのコメント) 平成26年3月、梶山臨床心理研究第14
号 (pp.53-54)

(調査活動)

平成22年度 A社における新入社員の職場適応とメンタルヘルスに関する調査

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

(学内活動)

平成21年 4月 産業メンタルヘルス研究所副所長「平22.3まで」
産業メンタルヘルス研究所運営会議委員「現在に至る」
共通教育委員会委員「平24.3まで」
平成22年 4月 産業メンタルヘルス研究所所長「平24.9まで」
大学運営会議委員「現在に至る」
自己点検・評価委員会委員「現在に至る」

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/7)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果	(学内活動 つづき) 平成23年 4月 就業力育成支援委員会委員「平24.3まで」 平成24年 4月 臨床心理学研究科長「現在に至る」 大学教学会議委員「現在に至る」 自己点検・大学院委員会委員「現在に至る」 危機管理委員会委員「現在に至る」 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「平25.3まで」 平成24年10月 産業メンタルヘルス研究所副所長「現在に至る」
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	(NPO法人等の団体への参画) 平成14年 8月 有限会社ケーアイピーピー取締役「現在に至る」 平成18年 4月 財団法人日本臨床心理士資格認定協会評議員「現在に至る」 平成22年 4月 社団法人日本心理臨床学会代議員「現在に至る」 平成24年 7月 一般社団法人京都精神分析心理療法研究所代表理事「現在に至る」 平成25年 6月 一般社団法人日本臨床心理士会理事「現在に至る」 (自治体や企業における研修等の講師) 平成21年 7月 広島カウンセリング・スクール講義「精神分析概論：臨床現場に生かす対人関係精神分析の視点」、於：中国新聞ビル会議室 平成21年11月 1. 平成21年度全国情緒障害児短期治療施設職員研修会心理治療部会研修会「情緒障害児短期治療施設で精神分析的観点を生かせるのか 対人関係学派の立場から」、於：社会福祉法人大阪水上隣保館 2. 神戸家庭裁判所尼崎支部調査官研修会「離婚が子どもに及ぼす影響について」 平成22年 7月 1. 広島カウンセリング・スクール一般コース「精神分析概論」、於：中国新聞社7階 2. 広島カウンセリング・スクール専門コース「非行・犯罪の心理臨床と精神分析的視点」、於：中国新聞社7階 平成22年 9月 平成22年度第3回河内会心理士研修会「施設で心理士が働くということ」、於：修徳学院 平成23年 4月 株式会社ベネシス 職場の危機とメンタルヘルス、於：ベネシス 平成23年 6月 京都府新任管理者メンタルヘルス研修、於：京都府職員研修・研究支援センター 平成23年 7月 1. 広島カウンセリング・スクール一般コース「精神分析概論」、於：中国新聞社7階 2. 広島カウンセリング・スクール専門コース「対人関係精神分析入門」、於：中国新聞社7階 平成23年 8月 向日市役所 生涯学習課 人権研修会「災害時の心のケアとはなにか ～阪神淡路大震災と3.11後福島を経験を踏まえて」、於：向日市民会館第1会議室 平成23年 9月 京都中央看護保健専門学校 職員研修「防衛機制について」、於：京都中央看護保健専門学校 平成23年10月 1. 医療法人稲門会いわくら病院 管理監督者の危機介入能力を高める啓発研修、於：いわくら病院 2. 医療法人神甲会隈病院 メンタルヘルス研修会、於：隈病院 3. 社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 3年目職員研修会、於：桂病院 平成23年11月 彦根・愛知・犬上地区青少年対策連絡会議「発達障害児(者)の支援を考える ～ひきこもりや非行、犯罪など社会不適応状態の理解～」、於：甲良町公民館 平成24年 3月 佛教大学臨床心理学研究センター スタディ・デイ「対人関係論の基礎」、於：佛教大学臨床心理学研究センター 平成24年 5月 1. 精神分析研究会・神戸、対象：臨床心理士・精神科医、「対人関係論について」 2. 京都市立中高連合会カウンセリング研究会、対象：私立中学高等学校教員、「問題行動を起こす生徒の人間力を伸ばす教育 ―非行、発達障害の事例を中心に」

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (7/7)

平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の社会における活動	(自治体や企業における研修等の講師 つづき)	
	平成24年 7月	1. 会津方部老人福祉施設連絡協議会研修会、対象：老人福祉施設職員、「対人援助職のストレスを組織の観点から考える」 2. 生と死を考える会・会津、対象：医療従事者・ボランティア、「被災地の心理的支援から見た生と死：阪神淡路と福島原発事故の経験とシステム心理力動的な観点から」
	平成24年 7月	3. 広島カウンセリングスクール、対象：カウンセリングスクール受講者、「精神分析概論」 4. 広島カウンセリングスクール、対象：カウンセリングスクール受講者、「対人関係精神分析」
	平成24年10月	大阪経済大学創立80周年記念講演会、対象：一般市民、「被災地の心のケアを考える：福島原発事故をめぐるシステム心理力動」
	平成24年11月	桂病院、対象：病院職員、「3年目職員研修：病院組織人としての自覚を高める啓発研修」
	平成24年12月	1. 富士通メンタルヘルスセミナー、対象：富士通従業員、「組織の観点からメンタルヘルスを考える」 2. 京都市精神保健福祉相談員資格取得講習会、対象：保健師、「ライフステージと心理学」
	平成25年2月・3月	大阪府社会福祉協議会児童施設課程（応用コース）研修会、対象：社会福祉施設職員、「子どもの理解」
	平成25年 3月	1. 三重県臨床心理士会公開研修会、対象：臨床心理士、「臨床心理士の連携のあり方について考える」 2. 京都府臨床心理士会研修会、対象：臨床心理士、「スーパーヴィジョンについて考える」シンポジスト 3. 京都府臨床心理士会研修会、対象：臨床心理士、「組織コンサルテーション心理力動とシステムを扱う視点から」
	平成25年 7月	1. 広島カウンセリングスクール、対象：カウンセリングスクール受講者、「精神分析概論」、於：中国新聞ビル 2. 広島カウンセリングスクール、対象：カウンセリングスクール受講者、「非行・犯罪の心理臨床と精神分析的視点」、於：中国新聞ビル
	平成26年 2月	大阪府社会福祉協議会児童施設課程（応用コース）研修会、対象：社会福祉施設職員、「子どもの理解」、於：大阪社会福祉指導センター
	(その他)	
	平成18年 4月	児童心理療育施設ひびきスーパーヴァイザー「現在に至る」
	平成21年 4月	日本犯罪心理学会理事「平25.3まで」
	平成22年 3月	1. 京都文教大学教育臨床講座「教育現場における臨床心理的理解と対応：5. 青年期の性と非行」(講師) 於：京都文教大学 2. cocoro-net@osaka2010「失敗 ―その原因と修復の仕方」(講師) 於：大阪府社会福社会館
	平成23年 1月	広島いのちの電話主催自殺予防いのちの電話公開講演会「別れが生み出す出会い、出会いが支える別れ」(講師) 於：中区地域福祉センター